

第31回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第31回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果をとりまとめましたので、お知らせします。

結果のポイント

- ・総合景気観のDI値は(+7)となった。
- ・前回6月調査値(+12)と比べると-5となり、停滞している。

【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

平成29年9月調査

	調査数	前回調査		今回調査			前年調査
		A 現況 (H29. 6)	見通し (H29. 7-9)	B 現況 (H29. 9)	(B-A)	見通し (H29. 10-12)	現況 (H28. 9)
					前回現況 との対比		
総合	98	12	11	7	-5	16	-15
農業	9	0	20	-22	-22	0	0
建設業	11	27	9	55	28	45	-18
製造業	11	37	0	18	-19	64	-36
卸売・小売業	24	-12	16	-16	-4	0	-10
観光業	11	18	0	9	-9	0	-43
飲食業	10	-11	22	-10	1	-30	-11
サービス業	22	32	9	18	-14	27	-4

- 調査目的 本市経済の景況感をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所（業種別内訳は上表参照）
- 調査時期 年4回（3月、6月、9月、12月）
- 調査方法 電話による聴き取り
- 調査内容
 - (1)現在の景況感：良い、普通、悪いのいずれかを回答
 - (2)3ヵ月後の見通し：良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法
 - (1)現在の景況感(2)3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い(良くなる)」の構成比から「悪い(悪くなる)」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。
 - 例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。
 - 「DI」(Deffusion Index、デフージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標の事で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。